

事業所名 グループホームさるびあ新正

作成日 : 平成 22年 3月 17日

評価結果

市町村提出日 : 平成 22年 3月 17日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	No.6	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び職員が身体拘束をしないケアについては勉強会を通じて認識を行っている。 現状グループホームは2階にあり、踊場が狭く、柵があり柵が開閉しないように紐をつけている	今後も勉強会を通じて、身体拘束をしないケアについての知識を身に付けていく。 柵に紐をつけていることで、利用者への抑圧感を招いてないかを認識し、安全で自由な暮らしを支援できるよう工夫する。	建築上、階段及び出入り口の踊り場を広くすることは不可能であるし、柵に紐をつけずにいると柵が開閉してかえって利用者様に危険が生じる。 紐をつけたままでの対応となるが、利用者様に抑圧感を与えず、自由に出入りをできるように支援する。	1 か月
2	No.20	○馴染みの人や場との関係継続の支援 実際、馴染みの人の訪問は少ないため、家族への働きを常に行っている。訪問が少ない場合は、回想法を用いて支援している。	馴染みの人を思い出したり、馴染みの場所へ行くことが、利用者様の日常生活の張りになるように支援していく。	回想法を用いながら、馴染みの人や馴染みの場所を見つけ出し、ドライブ等でその場所へ行くよう支援していく。	3 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。